

『謹賀新年』



令和5年12月吉日

「久仁京介かこむ会」

筆頭副会長 白根幹夫

“ほっこり、おだやかな辰年になりますように”

今年も宜しくお願ひします。

小春日和の日差しの中、ツツジ、ハナミズキ、シャクナゲ、ライラック等には、「来春また美しく咲いてくれるように」と施肥し、本格的な冬が来る前に手入れをしました。

師走を前に思いがけない方からの年賀欠礼のはがきを手にししました。自分たちも、人生のたそがれに入っていることを自覚せざるをえません。穏やかに過ごせる日々を大切にしたい。それが何よりの幸せなのではないかと思ひます。

昨年の7月には私達の学び舎「新潟市工之跡」石碑移設除幕式及び式典には同級生＝「久仁京介かこむ会」の6名の方々が約7000名の卒業生代表として出席し立派に大役を果たされた「節目」の年でした。

その後、石碑保存の会、事務局の加藤 功さん（市工5年後輩）から出席された6名の方々に当日撮影したDVDが届いたそうです。

